

競 技 注 意 事 項

1. 本競技会は2022年日本陸上競技連盟規則と本大会申し合わせ事項によって行う。

2022年1月1日のWAの競技規則TR5の改正と新たに「競技用靴に関する規程」が導入されたことに基づき、靴底の厚さのチェックは実施しない。ただし、審判長および競技役員はいつでもシューズチェックをすることができ、競技者はその指示に従わなければならない。明らかに規則・規程違反のシューズや疑わしいシューズは、チェックや回収の対象になることがある。競技後にシューズの違反が認められた場合は、審判長が「失格」と判断し、記録が取り消される場合がある。

競技用靴・靴底の厚さ

| 種 目 | ソールの最大厚さ | その他の要件/注意 |
|----------------------------------|----------|---|
| フィールド種目(除:三段跳) | 20mm | 投てき種目と三段跳を除く跳躍種目に適用する。全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。 |
| 三段跳 | 25mm | 靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。 |
| トラック種目 (ハードル種目を含み、800m 未満の種目) | 20mm | リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 |
| トラック種目 (障害物競走を含み、800m 以上の種目) | 25mm | リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じ40mmとする。 |
| 競技場内で行う競歩 | 40mm | |
| 道路競技(競走・競歩) | 40mm | |

※フィールド競技用靴においては、「靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない」の規定については、適用除外とするが、その他の規定(靴底の最大の厚さ)は遵守すること。

2. 招集(コール)について

※招集所へのスマートフォン・携帯電話等の通信機器の持ち込みは禁止する。

※下記の時間帯に招集を完了できなかった場合は出場できない。

(1) 一次招集(招集所:室内練習場)

・トラック種目 : 競技開始時刻の60分前開始 30分前完了

フィールド種目 : 競技開始時刻の90分前開始 60分前完了(棒高跳のみ120分前開始 90分前完了)

・上半身競技服装(アスリートビブスをつけていること)になり、スパイクチェックを受け、腰ナンバーを受け取る。

・リレーの一次招集は4人揃って受け、他種目に出場しているときは、多種目同時出場届を提出すること。

・同一日に他種目や準決勝・決勝に出場する場合、種目ごと・ラウンドごとに一次招集を受けること。

(2) 二次招集(現地)

トラック種目 : 競技開始時刻の15分前開始 10分前完了

フィールド種目 : 競技開始時刻の50分前開始 40分前完了(棒高跳のみ70分前開始 60分前完了)

(3) 一次招集・二次招集(現地)に遅れた競技者は欠場したものとして処理する。

(4) 欠場する場合(受付後に欠場することになった場合も含む)は、欠場届を競技開始時刻までに競技者係へ必ず提出すること。(用紙はHPにあるものをダウンロードして利用する)

(5) 同時時間帯に競技が行われる場合には、多種目同時出場届を一次招集開始までに招集所へ提出すること。

なお、一次・二次招集ともに代理をたてる必要はない。

(6) リレーのオーダー用紙は、**第1組の一次招集完了時刻の1時間前までに**競技者係に提出すること。

(用紙はHPにあるものをダウンロードして利用する)

3. アスリートビブスについて

必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。トラック種目では腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付けること。なお、腰ナンバーカードは主催者側で準備する。

4. 運営方法について

- (1) 800mは、120mでオープンとする。
- (2) 競技運営上、ラスト1周で5000mは18分30秒、3000mは13分30秒、3000mSCは、13分00秒、男子5000mWでは35分、女子5000mWでは38分をこえる選手は審判長が競技を打ち切る。
- (3) 男子5000m・女子3000mはグループスタートで行い、120mでオープンとする。
- (4) バーの上げ方
走高跳 男子 1.55-1.60-1.65-1.70-1.75-1.80 以降3cm ずつ
女子 1.25-1.30-1.35-1.40-1.45-1.50 以降3cm ずつ
棒高跳 男子 2.60-2.80-3.00-3.20-3.40-3.60 以降10cm ずつ
女子 2.00 以降10cm ずつ
※走高跳・棒高跳ともに練習の高さは当日現地で決定する。
- (5) 高さ競技を除くフィールド競技においては、トップ8を行う。
- (6) 走幅跳・三段跳におけるカットラインは当日に跳躍審判長と主任で決定する。
- (7) 投てき競技はすべてフィールド内で行う。いずれの種目の投てき練習も競技場所に入ってから審判員の指示に従って行うこと。これ以外の投てき練習は禁止する。
- (8) 各自が持参した投てき用やりは検定を受けて使用する。(競技開始90分前から60分前までに器具庫前に持参すること。
- (9) 投てき競技の滑り止めについては、主催者は準備しないので、個人で持参すること。
- (10) フィールド競技の試技制限時間

単独種目

| 残っている競技者数 | 走高跳 | 棒高跳 | その他 |
|-----------|-------|-----|-----|
| 4人以上※ | 1分 | 1分 | 1分 |
| 2～3人 | 1分30秒 | 2分 | 1分 |
| 1人 | 3分 | 5分 | — |
| 連続試技※※ | 2分 | 3分 | 2分 |

※4人以上または各競技者の最初の競技

※※残っている競技者数に関係なく適用し、走高跳・棒高跳では高さが変わった場合にも適用する。

- (11) 学校対校は、各地区男女別学校対校とし、各種目の1位8点、2位7点・・・8位1点とする。

5. 表彰

表彰式は行わないが、各地区の男女総合優勝校には優勝盾(持ち回り)を授与し、各総合2位～6位に賞状を授与する。個人種目及びリレー種目は各地区別に各種目3位まで賞状を授与する。各自で玄関ホールに取りに来ること。

6. 補助員 8:00集合(正面スタンド前走幅跳ピット中央付近)

参加人数が5～9人以内の学校は1名、10～19人は2名、20人以上は3名の補助員を両日とも出すこと。参加人数が極端に少なく補助員を出すのが難しい場合は、学校受付時に受付役員に申し出ること。清掃については、補助員割り当てを見て、確認しておくこと。

7. 競技場への入場について

○入場制限を緩和し、部員の人数・時間の制限を設けない。但し、入場は部員・顧問(監督・コーチ)・保護者・役員のみとし、以下の要領で、入場者の把握・管理を行う。

(1)部員は、顧問が作成した「部員登録証」を入場の際に提示する方式とする。出入口は、1F 正面入口とその横の2F 入口の2か所のみとする。

※「部員登録証」は、顧問宛にデータ送信したものを各校が作成し、今年度の大会を通じて使用すること。

(2)顧問・監督・コーチは「日本陸連公認審判員証」または「顧問証」を入場の際に提示すること。

(3)「体調管理チェックシート」の個人ごとの提出は不要とするが、顧問が集約・管理をし、それをもとに「大会入場者一覧表」を作成し、代表者が出場初日の学校受付時に提出(1F エントランス)すること。2日にわたる本大会の場合も入場者を1枚の一覧表にまとめて作成すること。大会総務の指示により、「体調管理チェックシート」の提出を求めることがあるので、各日の入場者については、顧問で把握・管理すること。

○大会来場後2週間以内に発熱等の体調不良が発現した場合は、顧問へ連絡し、顧問は速やかに地区主任へ報告すること。

8. その他

(1)競技会開始前及び競技中のトラックでの練習については、次のレーン区分を守り、周囲の動きに十分注意して行うこと。

【1日目 10月29日(土)】 ※朝のトラック練習は8:30まで

長距離用周回練習:1・2レーン *ジョグはレーン外

直線での短距離練習:ホームストレート6・7・8レーン

直線での短距離練習:バックストレート7・8レーン バトン練習は3・4・5・6レーン

練習後に必ず、マーカー(テープ)をはがすこと。*バトン練習は初日のみ

【2日目 10月30日(日)】 ※朝のトラック練習は8:45まで

長距離用周回練習:1・2レーン *ジョグはレーン外

短距離練習はホームストレート3・4レーン、バックストレート7・8レーン

ハードル練習は2日目のみとする。100mHは5・6レーン、110mHは7・8レーンとする。

練習では余裕をもって長めに走り、戻りには十分に安全確認をすること。

400mHの練習:女子は3・4レーン 男子は5・6レーン、

練習では余裕をもって長めに走り、戻りには十分に安全確認をすること。

※29日(土)・30日(日)両日ともサブグラウンドはアップ場として開放する。

(2)競技者としてのマナーを守る。本部前は生徒の通行は原則禁止。ゴール後は本部前を通らないこと。

(3)フィールド芝生内への立ち入りは競技役員、補助員のみとする。

(4)ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技区域内で使用してはいけない。

(5)メインスタンドには部旗等を掲げない。テントはメインスタンドおよびバックスタンド・サイドスタンド屋根のない所に設置する。

(6)貴重品・私物の管理は各校で責任を持つこと。盗難には十分に注意すること。

- (7) ケガ人が出た場合、本部で応急手当は行いますが、その後は各校顧問で処置して下さい。
- (8) ゴミはすべて持ち帰ること。
- (9) 本大会の結果については、掲示は行わない。大阪高体連陸上競技専門部 web に随時アップデートするため、各自確認すること。
- (10) 駐輪禁止：点字ブロック周辺・正面階段前には自転車を止めないこと。

◎本大会で使用した個人情報につきましては、本大会の目的以外に使用することはありません。